

けんしていゆうけいぶんかざい けんぞうぶつ
【県指定有形文化財（建造物）】

だいじ じしよいん
大慈寺書院

れいわ ねん がつ にちしてい
(令和5年5月2日指定)



だいじ じしよいん
大慈寺書院



だいじ じしよいんにしがわぜんけい
大慈寺書院西側全景



だいじ じしよいんないぶ
大慈寺書院内部

しゃしん かごしまけんきょういくいんかい
(写真：鹿児島県教育委員会)

○ 所在地 志布志市志布志町志布志2丁目2531番地1

○ 所有者 宗教法人 大慈寺

○ 特徴

大慈寺書院は、禅宗寺院の伽藍（建造物）に見られる「書院」で、江戸末期（慶応元年）に建設されました。中心部の軸組部材の径と柱の面取りの寸法などが、江戸末期の木造建築技術を現在に伝えています。

近世の寺院建築は、廃仏毀釈によって全国的に数が少なく、特に本県においてはほとんどありません。この大慈寺書院は、本県で認められる唯一の近世寺院建築として大変貴重な建造物です。